

くしろオータムナイト ドローンショー『蛇池雅人カルテット JAZZ LIVE』



2021年10月30日(土)17:30~(約40分間)

※荒天の場合は、31日(日)に順延。
※観覧には、入場チケットが必要です。

<出演者プロフィール>

蛇池雅人 (サククス) じゃいけまさと

北海道苫小牧市生まれ。高校時代にブラスバンドでサククスを手にする。地元大学の学生BigBandに参加。在学中より演奏活動開始。

大学卒業後、会社員として働くも30歳より転向。

2006年NYにてIAJE(国際JAZZ教育者協会)に参加、ジャズの教育や普及活動にも力を入れる。

現在北海道を拠点に演奏活動や各種レコーディングにも参加。関東・関西圏にとどまらず2018-2019年には韓国ソウルでのツアーを行うなど、活動の幅を広げている。

過去リーダー作品

「slowlife / 蛇池雅人」(2006年)

「fall / SIDEWALK」(2011年)

「forest / 蛇池雅人Group」(2015年)

「Ruminating / 蛇池雅人Group」(2021年)



PROMOTION VIDEO





三浦広樹 - みうら ひろき

北海道札幌市出身。

10代でギターを始める。高校卒業後、甲陽音楽学院に入学。ジャズに傾倒する。2017年に渡米しBerklee College of Musicにてジャズ、ブラジルを中心とした南米音楽、作編曲等を学ぶ。

2020年同校卒業後、帰国し地元札幌で活動を開始した。

Freddie Bryant, Tim Miller, Billy Kilson, Bruno Raberg, Leo Branco, Rick DiMuzio, Neal Smith, 竹下清志, 土野裕に師事。





辻充浩(ベース)

島牧村出身。19歳頃からエレクトリックベースを本格的に始め2004年頃より演奏生活をはじめ。

ダブルベースに転向後すぐ福居良氏のトリオに参加、札幌の老舗ジャズクラブSlowboatのレギュラーベーシストとして活動しながらジャズの奥深さに向き合い研鑽の日々を過ごす。

世界的ジャズレジェンドのBarry Harris氏をはじめ道外のプレイヤーとの共演も多く。

2016年～2017年には一時NYへ拠点を移す。現在は札幌を拠点に全国で演奏をしている。



川合 草平(カワイソウヘイ):ドラマー。

北海道札幌市出身。6歳の頃よりドラムを始める。高校卒業後アメリカ カリフォルニア州 Musician's Insutitute P.I.T.(ドラム科)へ2年間留学。Jazz DrummingをChuck Flores、及び Tim McIntyer、またFunk DrummingをDave Salinas、総合的なdrummingをGary Garbatini各氏に師事。現在は札幌市を中心に全道各地及び道外でセッションドラマーとしてジャズからフュージョン、ファンク、ブルース、R&Bそして吹奏楽までジャンルにとられないオールラウンドドラマーとして活動を展開している。

【主な共演者】八木のぶお、松本圭司、須藤満、村田陽一、岡田治郎、坂上領、宮崎隆睦、鈴木よしひさ、伊藤志宏、田野城寿夫、矢吹卓、本多俊之、森村献、寺久保エレナ、椎名純平、島裕介、濱崎航、馬場智章、堀秀彰、つづらのあつし、田中菜緒子、山本一、Yoyo the pianoman, Hiro Noguchi, Mika Mori, josei, Eishin Nose, Nori Naraoka各氏など。

また上記 国内外で活躍するミュージシャンの他、地元である北海道の音楽シーンを牽引するミュージシャンたちとも精力的にセッションワーク等を通じて音楽活動を展開中。また後進の指導にも精力的に取り組んでいる。

参加音源の中でもHTB開局50年記念ソング『ハイタッチ』(作曲:寺久保エレナ/編曲:松本圭司/プロデュース:本間昭光各氏による)は現在ituneにて好評配信中。

最近自身のオリジナルを作曲し、世に配信すべく鋭意準備中。

自身のバンド(川合 草平Quartet※たまにQuintet)も2018年末より精力的に活動中。

